

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 3 月 6 日作成)

小委員会名	工事監理の社会的役割に関する小委員会	主 査 名：秋山 哲一 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築経済委員会	委員長名：眞嶋 二郎
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築士の独占業務とされる工事監理は建物の欠陥をなくし品質を確保する上で重要な業務である。しかし、一般の発注者の監理業務の内容や役割の重要性についての認識は十分とは言い難い。一方、発注者が施工段階において監理者に期待するサービスは、幅広い広がりを持ちつつある。建築生産における監理の役割を社会的に明確にすることが求められている。小委員会の目標は以下のとおり。0 (1) 監理のあり方に関する様々の立場からの意見収集 (2) 建物の監理形態の実状調査 (3) 監理者の法的役割と責任、建築生産の中における監理の位置づけと役割に関する提言 ・ 2005 年度の活動予定は以下の通り。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 監理の役割とあり方に関する様々な考え方の収集整理 (2) 各種建物における監理実状調査(継続) (3) 建築生産の中における監理の位置づけと役割についての整理・提案・公表 ・ 2006 年度以降 <ul style="list-style-type: none"> (1) 発注者から期待される監理業務についての調査・整理 (2) 建築生産の中における監理の位置づけと役割についての提案(再編成) (3) 監理者の法的役割と責任についての整理・検討 法曹界の認識と実務的な工事監理業務のギャップについて 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有 主査 秋山哲一(東洋大学) 幹事 天野禎藏(日建設計) 委員 天野博文(三井不動産)、板井克真(多田建設) 植村和文(三菱地所設計)、江口 禎(武蔵工業大学 名誉教授) 大井清嗣(日本設計)、大森文彦(大森法律事務所) 戀塚 弘(戀塚弘設計事務所)、塚越 修(鹿島建設) 平野吉信(国土交通省国土技術政策総合研究所) 星川晃二郎(汎建築研究所)、松家 克(ARX 建築研究所) 松本光平(明海大学)、柳瀬 高仁(ジャスト)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2005 年度予算	70,000 円	ホームページ公開の有無：あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/koujikanri/

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回(年度内計画を含む)

刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	1. 研究協議会：工事監理の法的責任と社会的役割 (9/3<土>、近畿大学) 参加者数 89 名 資料：「工事監理の法的責任と社会的役割」
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 監理の役割とあり方に関する様々な考え方の収集整理 ・ 監理の必要性、監理者の合理的確認方法を設定する必要性、監理の限界性、監理の公共性、監理者の責任と限界、施工者からみた監理、監理者の準司法的側面、改修工事の監理、などについて系統的に整理した。 2. 各種建物における監理実状調査(継続) ・ 発注者からの監理についての調査を継続している。 3. 建築生産の中における監理の位置づけと役割についての整理・提案・公表 ・ 大会(近畿)において研究集会を開催した。 ・ 研究集会開催に際してこれまでの研究成果のとりまとめを行い、資料集として公表した。
委員会活動の問題点・課題	1. 研究活動については順調に推移している。 2. 工事監理に関する消費者向けマニュアル作成の必要性が指摘された。 3. H P の立ち上げが遅れている。
その他の活動状況・研究成果	特になし